SMC株式会社　コントローラ
LEC　Series
LECP6

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

(1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。

(2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。

(3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。

(4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。

(5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。

(6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。

(7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2014/8	BCN-P5999-0211	初版
2015/2	BCN-P5999-0211-2	ドキュメント ID のデバイス指定対応 レシピ処理エラー表示機能、デバイスデータ処理エラー表示機能を追加

＊　管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

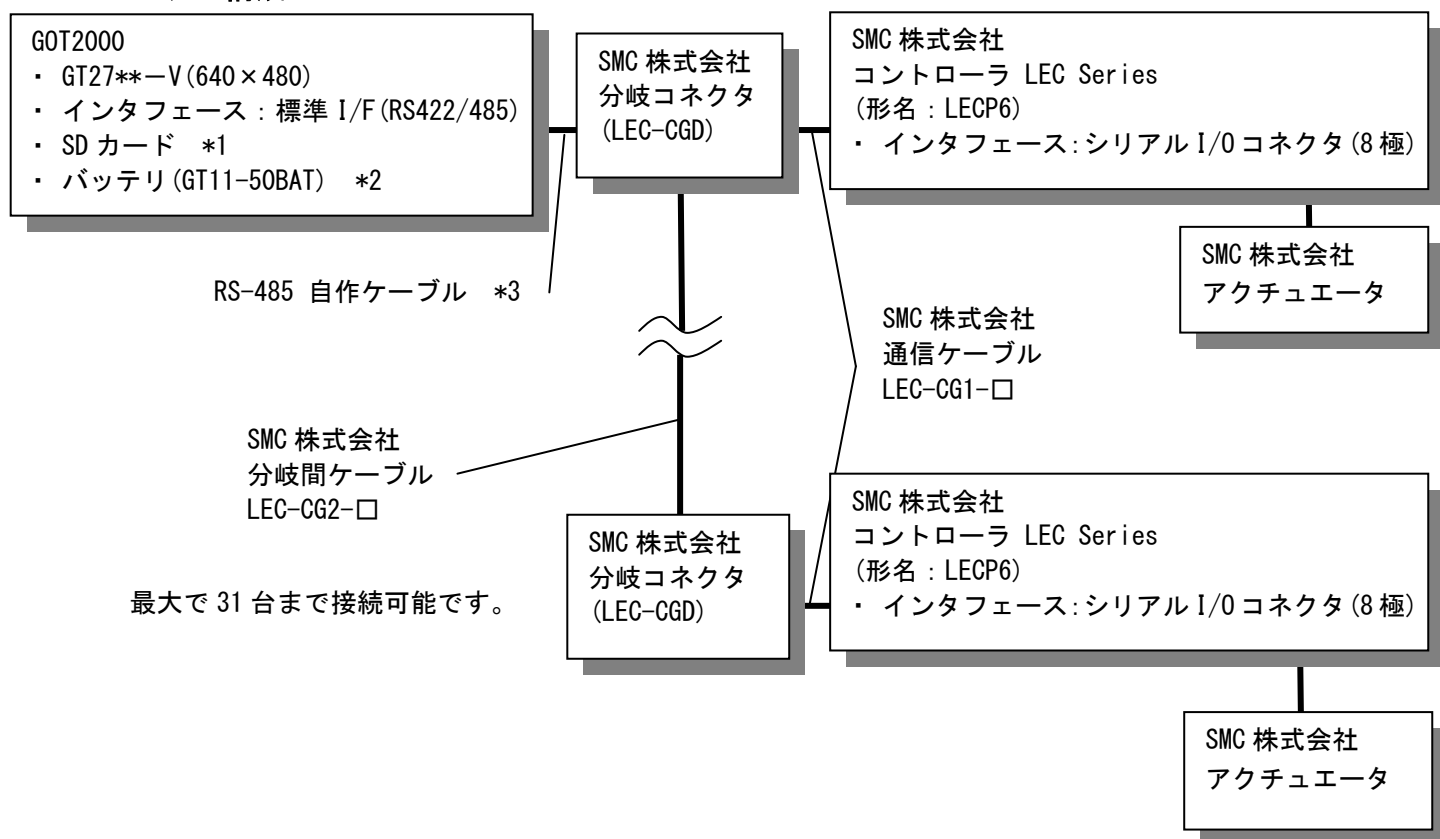
改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2014/8	SMC_LECP6_V_Ver1_J.GTX	1.117X	初版
2015/2	SMC_LECP6_V_Ver2_J.GTX	1.126G	ドキュメント ID のデバイス指定対応 メインモニタ、パラメータ、ステータス等を修正 レシピ処理エラー表示機能、デバイスデータ処理エラー表示機能を追加

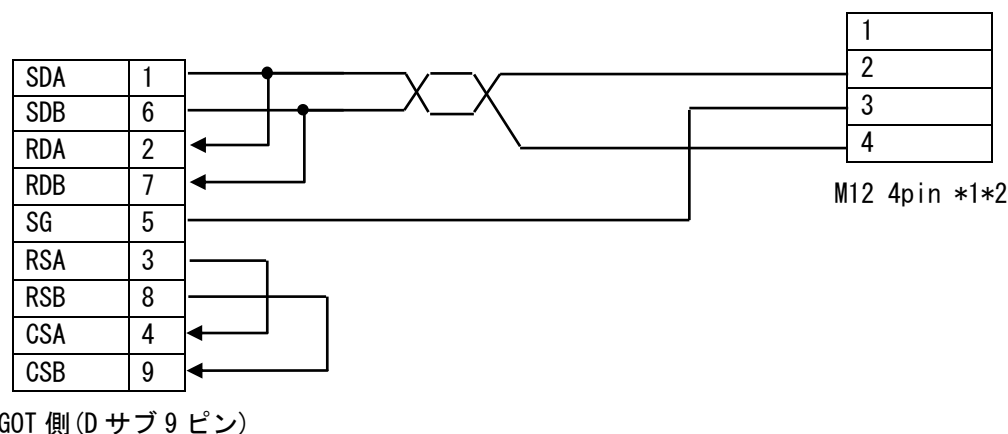
＊　プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000 と SMC 株式会社 コントローラ LEC Series(LECP6)をシリアル(RS-485)で接続し、SMC 株式会社 アクチュエータの現在値や設定値のモニタ、変更を行うサンプル画面の説明書です。

2. システム構成

2.1 システム構成

*1：SD カードは、ドキュメント表示機能・レシピ機能で使用しています。
*2：バッテリは、時計データの停電保持に使用しています。(バッテリは GOT 本体に標準装備しています。)
*3：接続方法の詳細については、「2.2 結線図」を参照してください。

2.2 結線図

*1：推奨コネクタはオムロン株式会社 XS2G-D4□□です。
*2：コネクタから先の接続については、SMC 株式会社にお問い合わせください。

3. GOTについて

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント	日本語	
通信ドライバ	MODBUS/RTU		
拡張機能	標準フォント		中国語(簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック	英数かな
			日本語漢字
			中国(簡体)漢字
	デバイスデータ転送		
	ドキュメント表示		

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

項目	設定値	備考
ボーレート(BPS)	115200	
データ長	8 bit	
ストップビット	1 bit	
パリティ	なし	
リトライ回数(回)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
自局アドレス	1	モニタするコントローラの軸番号を設定します。
送信ディレイ時間(ms)	5	
32bit格納順序	HL順	
ファンクションコード[0F]	使用する	
ファンクションコード[10]	使用する	
コイル読出し点数(点)	2000	
入力リレー読出し点数(点)	2000	
保持レジスタ読出し点数(点)	125	
入力レジスタ読出し点数(点)	125	
コイル書込み点数(点)	800	
保持レジスタ書込み点数(点)	100	

3.3 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定

ベース画面の切り換え時にウィンドウ画面を閉じるために、[画面切り換え/ウィンドウ]のオーバーラップウィンドウの[詳細設定]で[ベース画面の切り換えと同時にウィンドウを閉じる]を有効にしています。

4. コントローラについて

4.1 コントローラの通信設定

項目	設定値	備考
通信速度(bps)	115200	パラメータで変更可能です。(初期値は38400bpsです)
ビット長	8 bit	固定値のため変更できません。
ストップビット	1 bit	固定値のため変更できません。
パリティ	なし	固定値のため変更できません。

5. 画面仕様

5.1 表示言語

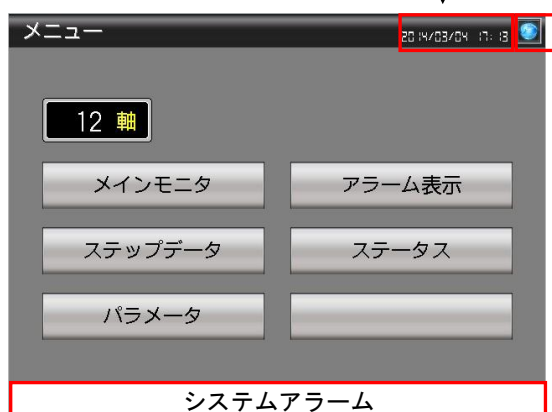
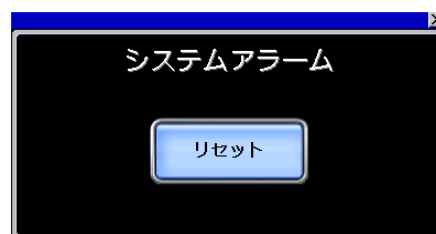
画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の 3 言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.499～500 の列 No.1～3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

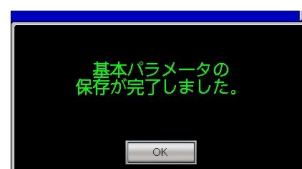
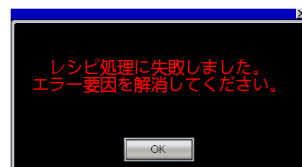
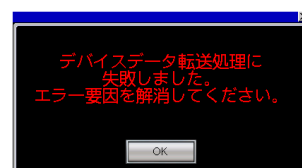
5.2 画面一覧・遷移

5.2.1 画面一覧・遷移(共通)

ウィンドウ画面 W-30003：時計設定

ウィンドウ画面 W-30002：言語設定

ベース画面 B-30001：メニュー他全ベース画面

ウィンドウ画面 W-30001：アラームリセット

5.2.2　画面一覧・遷移(個別)

前項より
前項より
レシピ処理に失敗しました。
エラー要因を解消してください。
OK
ウィンドウ画面 W-30117：
レシピ処理エラーダイアログ
デバイスデータ転送処理に
失敗しました。
エラー要因を解消してください。
OK
ウィンドウ画面 W-30118：
デバイスデータ転送エラー
ダイアログ
パラメータメニュー
基本パラメータ
原点復帰パラメータ
ベース画面 B-30005：
パラメータメニュー
基本パラメータ1/2
ベース画面 B-30006～7：
基本パラメータ
基本パラメータの
保存が完了しました。
OK
ウィンドウ画面 W-30108～11：
基本パラメータ ダイアログ
レシピ処理に失敗しました。
エラー要因を解消してください。
OK
ウィンドウ画面 W-30117：
レシピ処理エラーダイアログ
デバイスデータ転送処理に
失敗しました。
エラー要因を解消してください。
OK
ウィンドウ画面 W-30118：
デバイスデータ転送エラー
ダイアログ
次項へ
次項へ

前項より

前項より

原点復帰パラメータ

ベース画面 B-30008：
原点復帰パラメータ

原点復帰パラメータの
保存が完了しました。

OK

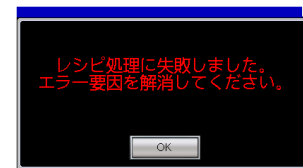
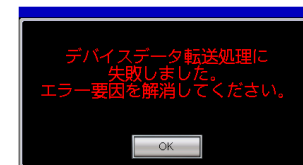
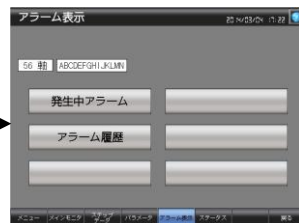
ウィンドウ画面 W-30108～11：
原点復帰パラメータ ダイアログ

レシピ処理に失敗しました。
エラー要因を解消してください。

OK

ウィンドウ画面 W-30117：
レシピ処理エラーダイアログ

デバイスデータ転送処理に
失敗しました。
エラー要因を解消してください。

OK

ウィンドウ画面 W-30118：
デバイスデータ転送エラー
ダイアログ

ベース画面 B-30009：
アラーム表示

ベース画面 B-30010：
発生中アラーム

次項へ

次項へ

次項へ

前項より

前項より

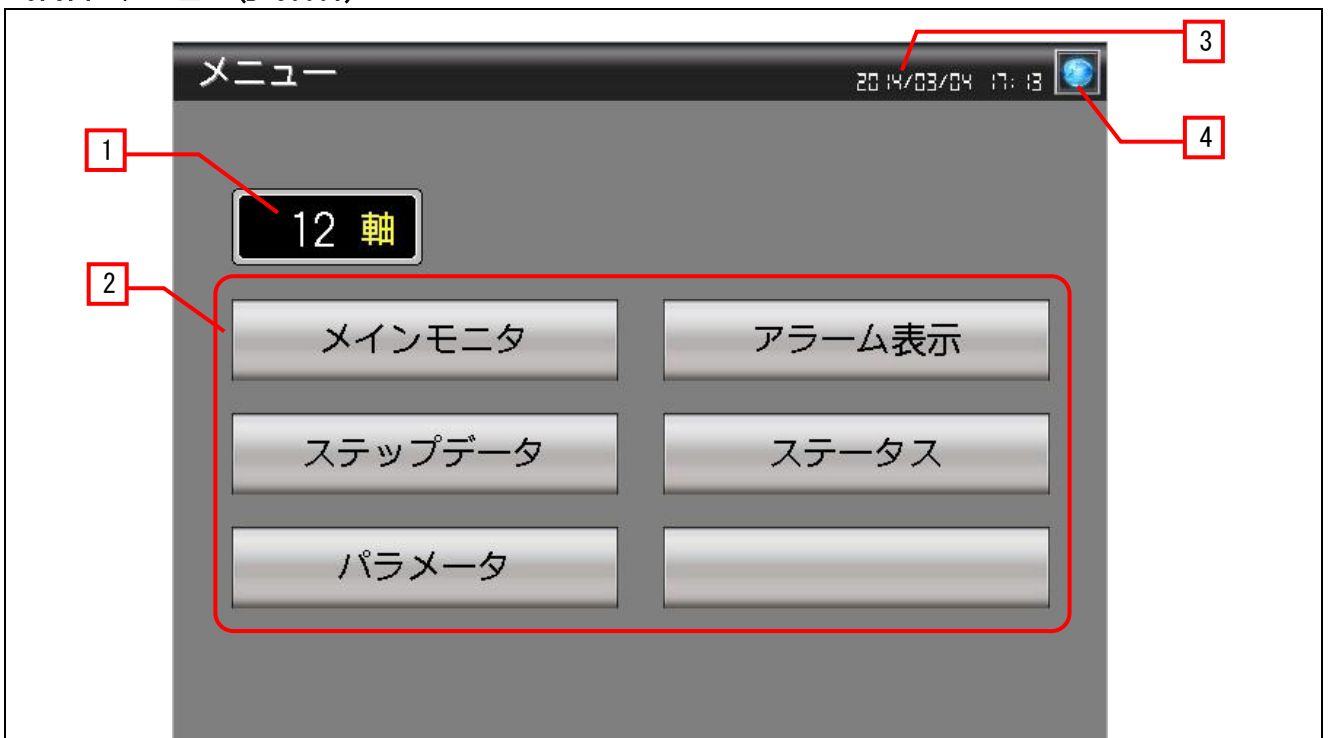
前項より

ベース画面 B-30012：
ステータス

ベース画面 B-30011：
アラーム履歴

ベース画面 B-30500：
マニュアル表示

5.3 画面説明

5.3.1 メニュー(B-30001)

概要

メニュー画面です。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. 各画面に切り換えます。
3. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
4. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 複数台のコントローラをモニタする場合は、接続機器設定の自局アドレスで設定した軸番号のコントローラが必ず存在するようにしてください。サンプルでは自局アドレスに「1」を設定しています。自局アドレス設定の詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)」を参照してください。
- GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにて軸番号に「1」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2　メインモニタ(B-30002)

概要

コントローラの状態を表示します。また、アクチュエータを操作します。

詳細

1.　モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2.　テスト運転を実行したステップデータ No.の現在位置・現在速度・現在推力・目標位置を表示します。
3.　コントローラの状態を表示します。
　　ALARM　　：アラーム発生中に点灯します。
　　SVRE　　：サーボが ON すると点灯します。
　　BUSY　　：モータ回転中(動作中)に点灯します。
　　INP　　：動作が完了すると点灯します。
　　SET-ON　　：原点復帰が完了すると点灯します。
　　E-STOP　　：EMG 停止時に点灯します。
　　AREA　　：現在値がステップデータのエリア 1～エリア 2 の範囲内の時に点灯します。
4.　原点復帰・保持/フリー・リセットを実行するスイッチです。
　　原点復帰　　：原点復帰をします。テストモード時のみ有効になります。
　　保持/フリー　　：サーボオン(保持)とサーボオフ(フリー)の切り換えができます。テストモード時のみ有効になります。
　　リセット　　：アラームをリセットします。アクチュエータの動作中にタッチすると、動作を中断(停止)します。
5.　テスト運転や位置取込で使用するステップデータ No.を指定します。
6.　指定したステップデータ No.のテスト運転を開始します。テストモード時のみ有効になります。
7.　指定したステップデータ No.に現在値を取り込みます。
8.　定寸移動時の移動距離を設定します。
9.　アクチュエータを手動で操作します。
　　定寸＋　　：定寸距離で設定した距離を前進します。テストモード時のみ有効になります。

定寸－ ：定寸距離で設定した距離を後進します。テストモード時のみ有効になります。
JOG＋ ：タッチしている間、前進します。テストモード時のみ有効になります。
JOG－ ：タッチしている間、後進します。テストモード時のみ有効になります。

10. 定寸移動と JOG 移動時の移動速度を指定します。
11. モニタモード/テストモード・一時停止・ステップデータ表示を実行するスイッチです。
    モニタモード/テストモード ：モニタモードとテストモードを切り換えます。
    一時停止 ：テストモード時にアクチュエータの動作を一時停止します。一時停止中にタッチすると動作を再開します。テストモード時のみ有効になります。
    ステップデータ ：指定したステップデータ No.のステップデータを表示します。
12. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
13. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
14. 前回表示していた画面に切り換えます。
15. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
16. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにて移動速度に「5」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ テスト運転、位置取込、JOG 初期設定、手動操作の実行は画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ 画面を閉じる時にテストモードになっている場合、モニタモードに切り換える処理を画面スクリプトで行っています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 ステップデータ-前半(B-30003)

概要

ステップデータ(前半)を表示、編集します。また、ステップデータ(前半・後半)をセーブ(ステップデータをレシピファイルに保存)、ロード(レシピファイルからステップデータを読み出し)します。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. コントローラから GOT にアップロードしたステップデータを表示、編集します。動作方法の設定値はタッチする度に「-」→「ABS」→「INC」→「-」の順で切り換わります。
3. ステップデータのセーブ、ロード対象となるレシピファイルのレコード No. を指定します。
4. GOT で編集したステップデータを、指定したレコード No. でレシピファイルに保存します。実行時にステップデータセーブダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
5. 指定したレコード No. でレシピファイルに保存されているステップデータを GOT に読み出します。実行時にステップデータロードダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
6. ステップデータをスクロールします。
   ▲ : 8 件分、上へスクロールします。
   ▼ : 8 件分、下へスクロールします。
7. ステップデータの表示項目を切り換えます。
8. コントローラのステップデータを GOT にアップロードします。実行時にステップデータアップロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
9. GOT のステップデータをコントローラにダウンロードします。実行時にダウンロード禁止ダイアログまたはステップデータダウンロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
10. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
11. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ステップデータの設定範囲は、アクチュエータの種類によって異なります。詳細は、アクチュエータの取扱説明書を参照してください。
- ステップデータは最大で No.63 まで表示、編集可能です。
- ステップデータの表示、非表示切り換えは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてレコード No.に「1」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- セーブ、ロードデータは 1 軸あたり、最大 1000 件まで登録できます。
- セーブ、ロード、アップロード、ダウンロードは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 ステップデータ-後半(B-30004)

概要

ステップデータ(後半)を表示、編集します。また、ステップデータ(前半・後半)をセーブ(ステップデータをレシピファイルに保存)、ロード(レシピファイルからステップデータを読み出し)します。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. コントローラから GOT にアップロードしたステップデータを表示、編集します。動作方法の設定値はタッチする度に「-」→「ABS」→「INC」→「-」の順で切り換わります。
3. ステップデータのセーブ、ロード対象となるレシピファイルのレコード No. を指定します。
4. GOT で編集したステップデータを、指定したレコード No. でレシピファイルに保存します。実行時にステップデータセーブダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
5. 指定したレコード No. でレシピファイルに保存されているステップデータを GOT に読み出します。実行時にステップデータロードダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
6. ステップデータをスクロールします。
   ▲ ：8 件分、上へスクロールします。
   ▼ ：8 件分、下へスクロールします。
7. ステップデータの表示項目を切り換えます。
8. コントローラのステップデータを GOT にアップロードします。実行時にステップデータアップロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
9. GOT のステップデータをコントローラにダウンロードします。実行時にダウンロード禁止ダイアログまたはステップデータダウンロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
10. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、ステップデータ-前半画面に切り換えます。
11. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ステップデータの設定範囲は、アクチュエータの種類によって異なります。詳細は、アクチュエータの取扱説明書を参照してください。
- ステップデータは最大で No.63 まで表示、編集可能です。
- ステップデータの表示、非表示切り換えは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてレコード No.に「1」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- セーブ、ロードデータは 1 軸あたり、最大 1000 件まで登録できます。
- セーブ、ロード、アップロード、ダウンロードは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.5 パラメータメニュー(B-30005)

概要

パラメータメニュー画面です。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. 各画面に切り換えます。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 基本パラメータ 1/2(B-30006)

概要

基本パラメータ(1/2)を表示、編集します。また、基本パラメータ(1/2・2/2)をセーブ(基本パラメータをレシピファイルに保存)、ロード(レシピファイルから基本パラメータを読み出し)します。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. コントローラから GOT にアップロードした基本パラメータを表示、編集します。パラメータプロテクトの設定値は、タッチする度に「1：基本 + ステップデータ」→「2：基本」→「1：基本 + ステップデータ」の順で切り換わります。
3. 基本パラメータのセーブ、ロード対象となるレシピファイルのレコード No.を指定します。
4. GOT で編集した基本パラメータを、指定したレコード No.でレシピファイルに保存します。実行時に基本パラメータセーブダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
5. 指定したレコード No.でレシピファイルに保存されている基本パラメータを GOT に読み出します。実行時に基本パラメータロードダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
6. 基本パラメータの表示項目を切り換えます。
7. コントローラの基本パラメータを GOT にアップロードします。実行時に基本パラメータアップロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
8. GOT の基本パラメータをコントローラにダウンロードします。実行時に基本パラメータダウンロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
9. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、パラメータメニュー画面に切り換えます。
10. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考
・ 基本パラメータの設定範囲は、アクチュエータの種類によって異なります。詳細は、アクチュエータの取扱説明書を参照してください。 ・ パラメータプロテクト切り換えは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。 ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてレコード No.に「1」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。 ・ セーブ、ロードデータは 1 軸あたり、最大 1000 件まで登録できます。 ・ セーブ、ロード、アップロード、ダウンロードは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。 ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.7 基本パラメータ 2/2(B-30007)

概要

基本パラメータ(2/2)を表示、編集します。また、基本パラメータ(1/2・2/2)をセーブ(基本パラメータをレシピファイルに保存)、ロード(レシピファイルから基本パラメータを読み出し)します。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. コントローラから GOT にアップロードした基本パラメータを表示、編集します。
3. 基本パラメータのセーブ、ロード対象となるレシピファイルのレコード No. を指定します。
4. GOT で編集した基本パラメータを、指定したレコード No. でレシピファイルに保存します。実行時に基本パラメータセーブダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
5. 指定したレコード No. でレシピファイルに保存されている基本パラメータを GOT に読み出します。実行時に基本パラメータロードダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
6. 基本パラメータの表示項目を切り換えます。
7. コントローラの基本パラメータを GOT にアップロードします。実行時に基本パラメータアップロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
8. GOT の基本パラメータをコントローラにダウンロードします。実行時に基本パラメータダウンロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
9. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、パラメータメニュー画面に切り換えます。
10. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考
・ 基本パラメータの設定範囲は、アクチュエータの種類によって異なります。詳細は、アクチュエータの取扱説明書を参照してください。 ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてレコード No.に「1」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。 ・ セーブ、ロードデータは 1 軸あたり、最大 1000 件まで登録できます。 ・ セーブ、ロード、アップロード、ダウンロードは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。 ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.8 原点復帰パラメータ(B-30008)

概要

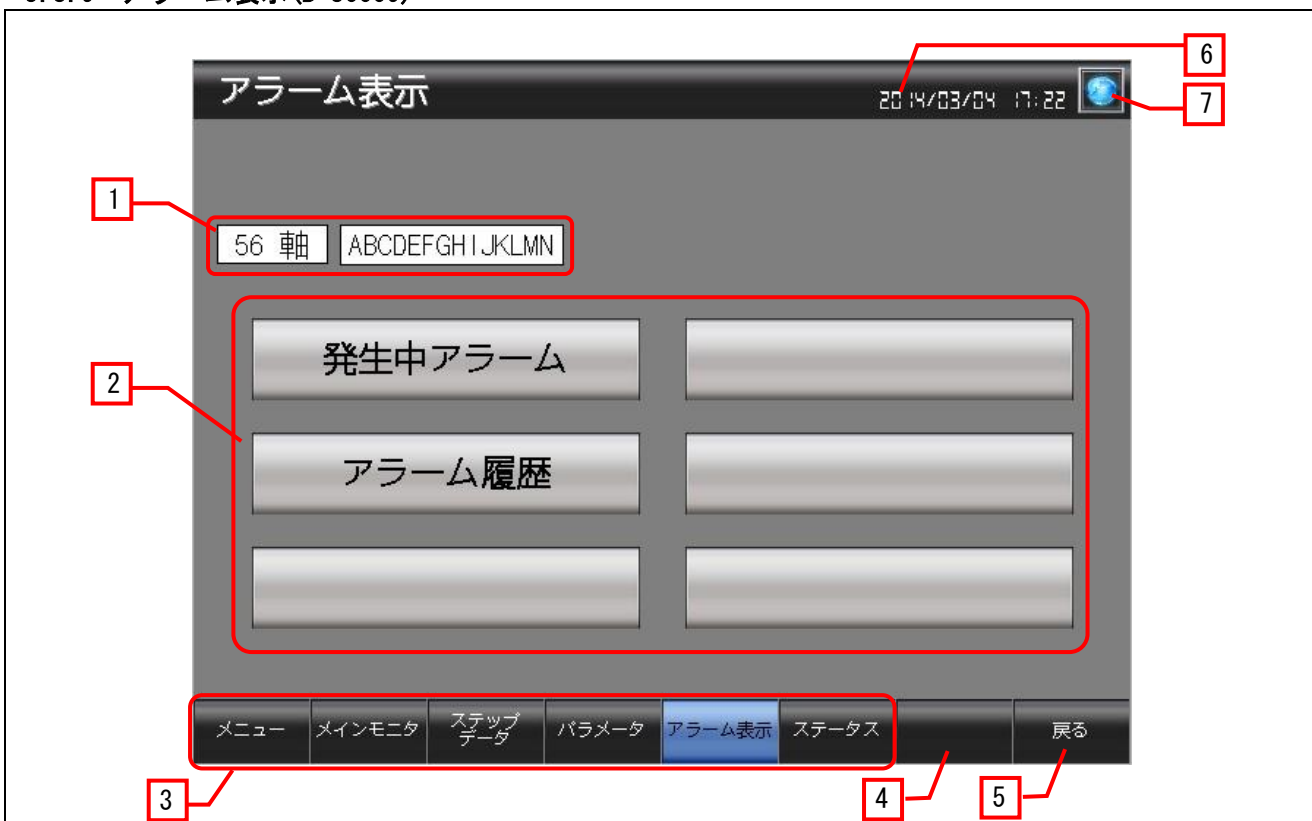
原点復帰パラメータを表示、編集します。また、原点復帰パラメータをセーブ(原点復帰パラメータをレシピファイルに保存)、ロード(レシピファイルから原点復帰パラメータを読み出し)します。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. コントローラから GOT にアップロードした原点復帰パラメータを表示、編集します。
3. 原点復帰パラメータのセーブ、ロード対象となるレシピファイルのレコード No. を指定します。
4. GOT で編集した原点復帰パラメータを、指定したレコード No. でレシピファイルに保存します。実行時に原点復帰パラメータセーブダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
5. 指定したレコード No. でレシピファイルに保存されている原点復帰パラメータを GOT に読み出します。実行時に原点復帰パラメータロードダイアログを表示します。レシピ処理エラーが発生した場合は、レシピ処理エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
6. コントローラの原点復帰パラメータを GOT にアップロードします。実行時に原点復帰パラメータアップロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
7. GOT の原点復帰パラメータをコントローラにダウンロードします。実行時に原点復帰パラメータダウンロードダイアログを表示します。デバイスデータ転送エラーが発生した場合は、デバイスデータ転送エラーダイアログを表示します。2 秒長押ししてください。
8. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、パラメータメニュー画面に切り換えます。
9. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
10. 前回表示していた画面に切り換えます。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
12. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 原点復帰パラメータの設定範囲は、アクチュエータの種類によって異なります。詳細は、アクチュエータの取扱説明書を参照してください。
- GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてレコード No.に「1」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- セーブ、ロードデータは 1 軸あたり、最大 1000 件まで登録できます。
- セーブ、ロード、アップロード、ダウンロードは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.9 アラーム表示(B-30009)

概要

アラーム表示メニュー画面です。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. 各画面に切り換えます。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.10 発生中アラーム(B-30010)

概要

発生中アラームを表示します。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. 現在発生中のアラームを表示します。
3. マニュアル表示画面に切り換えます。
4. アラームをリセットします。アクチュエータの動作中にタッチすると、動作を中断(停止)します。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、アラーム表示画面に切り換えます。
6. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
7. 前回表示していた画面に切り換えます。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 最大 8 種類のアラームを表示します。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.11 アラーム履歴(B-30011)

概要

アラーム履歴を表示します。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. アラーム履歴を表示します。
3. マニュアル表示画面に切り換えます。
4. アラーム履歴のページを切り換えます。
5. アラームをリセットします。アクチュエータの動作中にタッチすると、動作を中断(停止)します。
6. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、アラーム表示画面に切り換えます。
7. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- アラーム履歴の表示件数は最大 8 件×16 回分です。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.12 ステータス(B-30012)

概要

コントローラの状態やパラレル I/O の状態を表示します。

詳細

1. モニタするコントローラの軸番号と機器名を表示します。軸番号は数値をタッチすると変更できます。
2. テスト運転を実行したステップデータ No. の現在位置・現在速度・現在推力・目標位置を表示します。
3. パラレル通信時の入力信号を表示します。
4. コントローラの状態を表示します。
   - E-STOP ：EMG 停止時に点灯します。
   - SET-ON ：原点復帰が完了すると点灯します。
   - BUSY ：モータ回転中(動作中)に点灯します。
   - ALARM ：アラーム発生中に点灯します。
   - SVRE ：サーボが ON すると点灯します。
   - INP ：動作が完了すると点灯します。
   - AREA ：現在値がステップデータのエリア 1～エリア 2 の範囲内の時に点灯します。
5. パラレル出力端子の強制出力を有効にするスイッチです。
6. パラレル通信時の出力信号を表示します。強制出力有効時に各出力信号をタッチすると出力信号を強制出力できます。
7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
9. 前回表示していた画面に切り換えます。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 有効スイッチはパラレル通信(モニタモード)時のみ有効にできます。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.13 マニュアル表示(B-30500)

概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

詳細

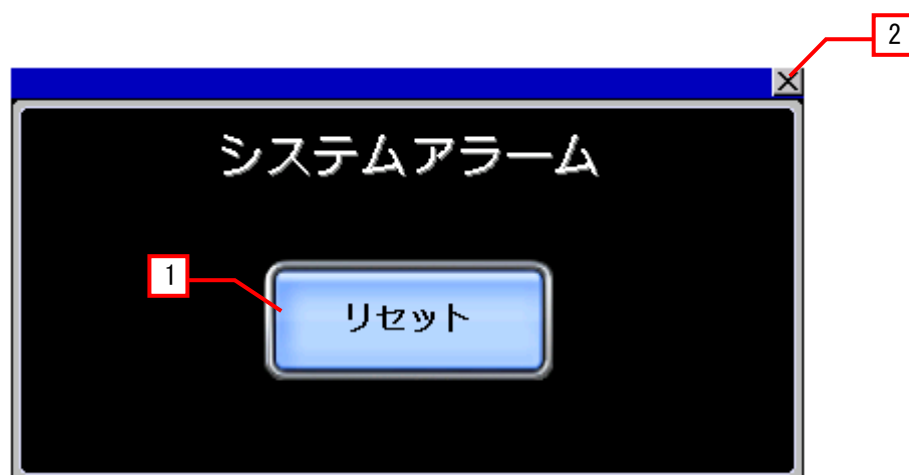
1. マニュアル表示は、言語に応じてそれぞれドキュメント ID 201～203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は 1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチアウト・ピンチインすると、大・中・小の 3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
   - [拡大][縮小]：表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
   - [←][→]：表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
   - [↑][↓]：表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
   - P. 1：表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
   - [◀][▶]：表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ マニュアル表示のドキュメントは表示言語切り換えに追従します。コメントグループ列 No.と言語、ドキュメント ID は下表のように対応しています。

コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No.に「1」、およびドキュメント ID に「201」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ ページ送りスイッチはオブジェクトスクリプトにて総ページ数を超えないようにしています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6.マニュアル表示について」を参照してください。
・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.14 アラームリセット(W-30001)

概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.15 言語設定(W-30002)

概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

・ 表示言語にあわせてシステム言語とマニュアル表示のドキュメント ID も切り換える設定をしています。

5.3.16 時計設定(W-30003)

概要

GOT の時計データを変更します。

詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を ▼▲ スイッチで設定します。 ▼▲ スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.17 ステップデータ確認画面 (W-30004)

概要

ステップデータを表示、編集する画面です。

詳細

1. ステップデータを表示、編集します。動作方法の設定値はタッチする度に「-」→「ABS」→「INC」→「-」の順で切り換わります。
2. ステップデータの入力範囲を表示します。
3. 入力用テンキーです。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- コントローラのステップデータを直接参照しています。書き込む際は十分注意してください。
- ステップデータの表示、非表示切り換えは、画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください

5.3.18 ガイダンス(W-30100)

概要
モニタモードとテストモードを切り換える際に表示します。

詳細
1.　確認メッセージを表示します。 2.　モニタモード/テストモードを切り換えてウィンドウを閉じます。 3.　ウィンドウ画面を閉じます。

備考
・ モニタモードからテストモードの切り換えは、サーボオン(保持)します。 ・ サーボオン(保持)の切り換えは画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.19 書込み確認ダイアログ１(W-30101)

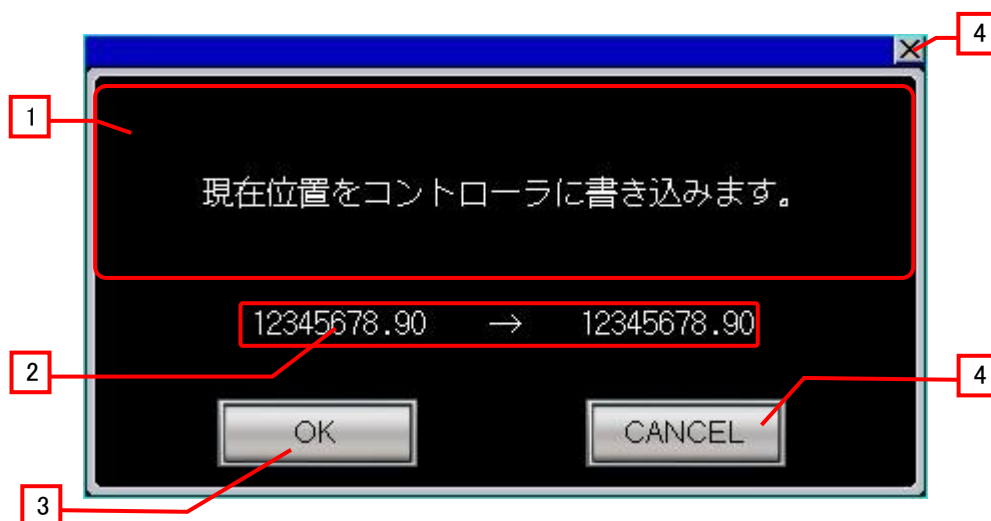
概要

ステップデータの動作方法が設定されていないときに表示します。

詳細

1. 確認メッセージを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.20 書込み確認ダイアログ２(W-30102)

概要

ステップデータの動作方法が「ABS」に設定されているときに表示します。

詳細

1. 確認メッセージを表示します。
2. 書き込む値とコントローラの値を表示します。
3. コントローラに現在位置の書き込みを実行し、ウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- 値をコントローラへ直接書き込みます。書き込む際は十分注意してください。
- コントローラへの書き込みは画面スクリプトを使用しています。スクリプトの詳細については「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.21 書込み確認ダイアログ3(W-30103)

概要

ステップデータの動作方法が「INC」に設定されているときに表示します。

詳細

1. 確認メッセージを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.22 ステップデータ　ダイアログ(W-30104～30107)

概要

ステップデータの処理経過を通知します。

詳細

1.　確認メッセージを表示します。
2.　ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.23 基本パラメータ　ダイアログ(W-30108～30111)

概要

基本パラメータの処理経過を通知します。

詳細

1. 確認メッセージを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.24 原点復帰パラメータ　ダイアログ(W-30112～30115)

概要

原点復帰パラメータの処理経過を通知します。

詳細

1. 確認メッセージを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.25 ダウンロード禁止ダイアログ(W-30116)

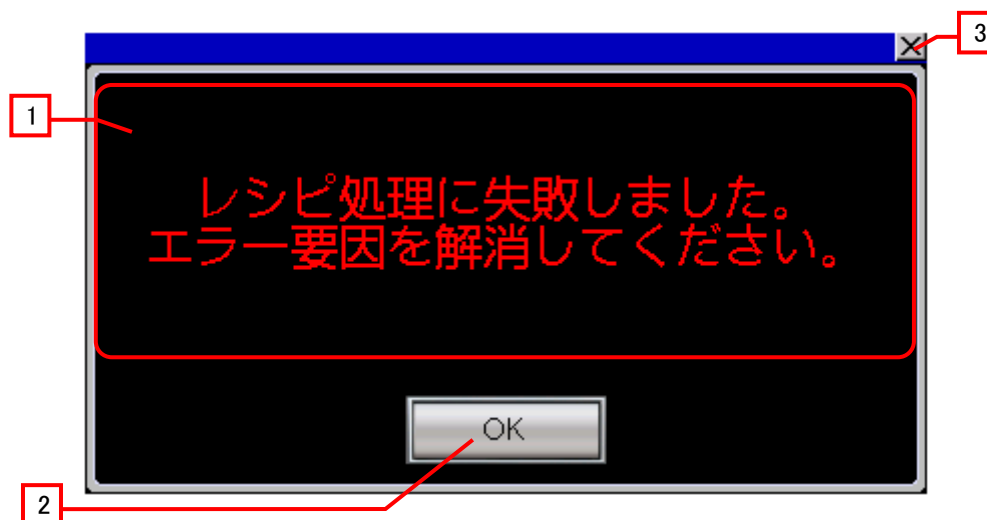
概要

パラメータプロテクトされているときに表示します。

詳細

1. 確認メッセージを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

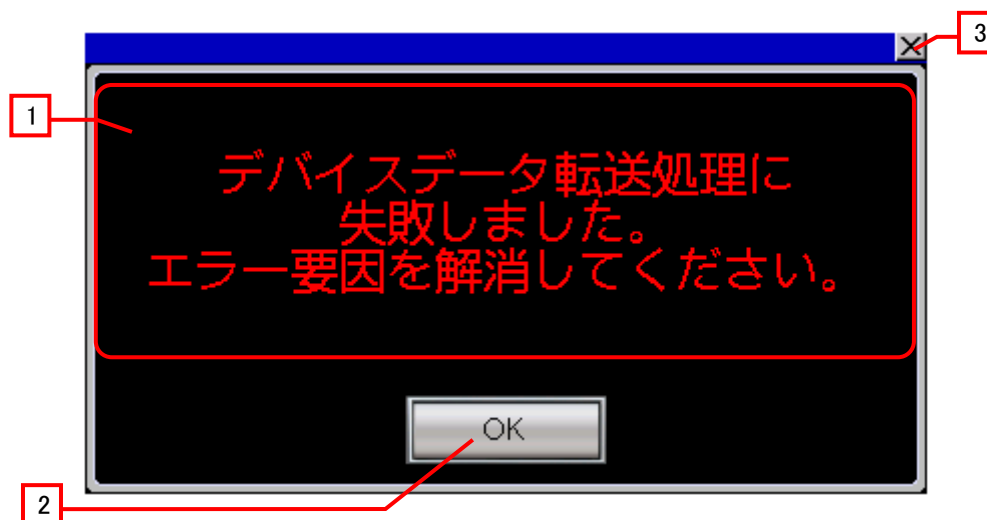
5.3.26 レシピ処理エラーダイアログ(W-30117)

概要

レシピ処理エラーが発生したときに表示します。

詳細

1. 確認メッセージを表示します。
2. レシピ処理エラーをリセットし、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.27 デバイスデータ転送エラーダイアログ(W-30118)

概要

デバイスデータ転送エラーが発生したときに表示します。

詳細

1. 確認メッセージを表示します。
2. 1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	000001	OUT0
	000002	OUT1
	000003	OUT2
	000004	OUT3
	000005	OUT4
	000006	OUT5
	000007	BUSY
	000008	AREA
	000009	SET-ON
	000010	INP
	000011	SVRE
	000012	*E-STOP
	000013	*ALARM
	000017～000024	テスト運転ステップNo.格納デバイス
	000025	一時停止
	000026	サーボオン・オフ
	000027	テスト運転トリガ
	000029	原点復帰
	000049	運転モード切り換え
	000050	強制出力モード
	000070	アラームリセット(アクチュエータの動作も停止します)
	100001	IN0
	100002	IN1
	100003	IN2
	100004	IN3
	100005	IN4
	100006	IN5
	100007	SETUP
	100008	HOLD
	100009	DRIVE
	100010	RESET
	100011	SVON
	100073	BUSY
	100074	SVRE
	100075	SET-ON
	100076	INP
	100077	AREA
	100079	E-STOP
	100080	ALARM
ワード	400001～400032	基本パラメータ領域
	400033～400040	原点復帰パラメータ領域
	400050～400052	JOG初期値
	400138	単位系指定
	400897～400960	アラーム履歴
	401025～402048	ステップデータ領域
	436865	現在位置

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	436867	現在速度
	436868	現在推力
	436869	目標位置
	436871	運転中ステップデータ No.
	436873～436876	発生中アラーム
	437121	数値指定運転_運転指示
	437123	数値指定運転_動作方法
	437124	数値指定運転_速度
	437125	数値指定運転_位置
	437127	加速度
	437128	減速度
	437132	位置決推力

5.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ
	GB41	スクリプトトリガリセット
	GB61001	テスト運転 No.格納トリガ
	GB61002	位置取込トリガ
	GB61003	位置取込実行トリガ
	GB61004	定寸-移動トリガ
	GB61005	定寸+移動トリガ
	GB61006	JOG 初期値設定トリガ
	GB61007	JOG-移動トリガ
	GB61008	JOG+移動トリガ
	GB61009	動作方法読み込みフラグ
	GB61010	サーボ操作トリガ
	GB61011	ステップデータ動作フラグ
	GB61012	動作方法書込みトリガ
	GB61013	テストモード切り換え確認フラグ
	GB61014	JOG 操作確認フラグ
	GB61100	ステップデータセーブトリガ
	GB61101	ステップデータロードトリガ
	GB61102	ステップデータアップロードトリガ
	GB61103	ステップデータダウンロードトリガ
	GB61104	ステップデータ書き込み確認トリガ
	GB61105	レシピ転送動作確認フラグ
	GB61106	デバイスデータ転送動作確認フラグ
	GB61107	パラメータ確認フラグ
	GB61200	基本パラメータセーブトリガ
	GB61201	基本パラメータロードトリガ
	GB61202	基本パラメータアップロードトリガ
	GB61203	基本パラメータダウンロードトリガ
	GB61204	パラメータプロテクト変更トリガ
	GB61300	原点復帰パラメータセーブトリガ
	GB61301	原点復帰パラメータロードトリガ
	GB61302	原点復帰パラメータアップロードトリガ
	GB61303	原点復帰パラメータダウンロードトリガ
	GD63040.b0～ GD63040.b7	ステップデータ表示フラグ
	GS512.b0	時刻変更信号
ワード	GD10	機器番号設定
	GD60000	ベース画面切り換え

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GD60001	オーバーラップウィンドウ1画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ2画面切り換え
	GD60016	スーパーインポーズウィンドウ1画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
ワード	GD60031、GD60041	システム情報
	GD60080～GD60082	ドキュメント表示
	GD61001	外部制御デバイス
	GD61002	レシピNo.格納デバイス
	GD61003	レコードNo.格納デバイス
	GD61004	外部通知デバイス
	GD61005	レシピNo.通知デバイス
	GD61006	レコードNo.通知デバイス
	GD61007	動作方法転送外部制御デバイス
	GD61008	動作方法転送外部通知デバイス
	GD61009	ステップデータ転送外部制御デバイス
	GD61010	ステップデータ転送外部通知デバイス
	GD61011	基本パラメータ転送外部制御デバイス
	GD61012	基本パラメータ転送外部通知デバイス
	GD61013	原点復帰パラメータ転送外部制御デバイス
	GD61014	原点復帰パラメータ転送外部通知デバイス
	GD61015	パラメータプロテクト転送外部制御デバイス
	GD61016	パラメータプロテクト転送外部通知デバイス
	GD61100	ステップデータNo.
	GD61101～GD61164	動作方法格納領域
	GD61165	位置取込先オフセット
	GD61166～GD61167	定寸距離
	GD61168	移動速度
	GD62000～GD63023	ステップデータ保存領域
	GD63101	B-30003,B-30004ステップデータオフセットデバイス
	GD63102	ステップデータ保存先レコードNo.
	GD63103	パラメータプロテクト確認デバイス
	GD63200～GD63231	基本パラメータ保存領域
	GD63300	基本パラメータ保存先レコードNo.
	GD63500～GD63507	原点復帰パラメータ保存領域
	GD63600	原点復帰パラメータ保存先レコードNo.
	GD63610	アラーム履歴表示デバイス
	GD63611	アラーム履歴オフセットデバイス
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP0800～TMP0802 TMP950～TMP996	スクリプト演算用

5.5 コメント一覧

コメントグループNo.	コメントNo.	使用箇所
499	No.48～198	B-30010、B-30011
500	No.1	B-30001～B-30012、B-30500
	No.2	B-30001～B-30012
	No.3	B-30002～B-30012
	No.4	B-30001
	No.5～7	B-30001～B-30012
	No.9～10	B-30500

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
500	No. 11	B-30002～B-30012、B-30500
	No. 12	B-30001～B-30012
	No. 100～141	B-30002
	No. 200	B-30003
	No. 201	B-30004
	No. 202～203	B-30003、B-30004
	No. 204～217	B-30003
	No. 218～230	B-30004
	No. 231～238	B-30003、B-30004
	No. 300～302	B-30005
	No. 400	B-30006
	No. 401	B-30007
	No. 402～403	B-30006、B-30007
	No. 404～416	B-30006
	No. 417～427	B-30007
	No. 428～432	B-30006、B-30007
	No. 500～517	B-30008
	No. 600～602	B-30009
	No. 603	B-30010
	No. 604	B-30011
	No. 605～609	B-30010、B-30011
	No. 700～749	B-30012
	No. 1000～1001	W-30001
	No. 1002	W-30002
	No. 1003～1010	W-30003
	No. 1100～1118	W-30004
	No. 1400～1402	W-30100
	No. 1500	W-30101
	No. 1501	W-30102
	No. 1502	W-30103
	No. 1503	W-30101～W-30103
	No. 1504	W-30102
	No. 1600～1601	W-30104
	No. 1602～1603	W-30105
	No. 1604～1605	W-30106
	No. 1606～1607	W-30107
	No. 1608	W-30104～W-30107
	No. 1700～1701	W-30108
	No. 1702～1703	W-30109
	No. 1704～1705	W-30110
	No. 1706～1707	W-30111
	No. 1708	W-30108～W-30111
	No. 1800～1801	W-30112
	No. 1802～1803	W-30113
	No. 1804～1805	W-30114
	No. 1806～1807	W-30115
	No. 1808	W-30112～W-30115
	No. 1900～1901	W-30116
	No. 2000～2001	W-30117
	No. 2100～2101	W-30118

5.6 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	B-30002、B-30003、B-30004、B-30006、B-30007、B-30008、B-30500
オブジェクトスクリプト	B-30500、W-30003

5.6.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	初期設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GB40

```
[w:GD60080]=201;  //ドキュメント ID に 201 を設定
[w:GD60081]=1;    //ドキュメントページ№を 1 に設定
[w:GD10]      =1; //間接指定先初期値
[w:GD63102]=1;    //ステップデータ保存先のレコード No 初期値
[w:GD63300]=1;    //基本ステップデータ保存先のレコード No 初期値
[w:GD63600]=1;    //原点復帰ステップデータ保存先のレコード No 初期値
[w:GD61168]=5;    //移動速度初期値
set([b:GB61009]);//動作方法取得初期処理
```

5.6.2 画面スクリプト

ベース画面 30002

スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	動作方法取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中　GB40

```
//画面起動、接続先変更時にステップデータの動作方法を取得します。

if([b:GB61009] == ON)
{
  //動作方法転送トリガ ON
  set([b:GD61007.b0]);
  //フラグリセット
  rst([b:GB61009]);
}
```

スクリプト No.	30004	スクリプト名	Script30004
コメント	JOG 初期値設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GB61006

```
//JOG 移動初期値を設定します。デバイスデータ転送と連動しています。

  //  JOG 加速度
[1-248:w:437127]=[1-248:w:400050];
  //JOG 減速度
[1-248:w:437128]=[1-248:w:400051];
  //JOG 位置決推力
[1-248:w:437132] = [1-248:w:400052];

//フラグリセット
rst([b:GB61006]);
```

スクリプトNo.	30005	スクリプト名	Script30005
コメント	ステップNo.書込み		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	ON中　GB61001

```
//ティーチングのステップNo.が入力されたときに、No.をコントローラに書き込みます。

//ステップNo.をコントローラに書き込み
[1-248:b:000017] = [b:GD61100.b0];
[1-248:b:000018] = [b:GD61100.b1];
[1-248:b:000019] = [b:GD61100.b2];
[1-248:b:000020] = [b:GD61100.b3];
[1-248:b:000021] = [b:GD61100.b4];
[1-248:b:000022] = [b:GD61100.b5];
[1-248:b:000023] = [b:GD61100.b6];
[1-248:b:000024] = [b:GD61100.b7];

//取込先オフセットを計算
[w:GD61165] = [w:GD61100] * 16;

//トリガリセット
rst([b:GB61001]);
```

スクリプトNo.	30006	スクリプト名	Script30006
コメント	位置取込		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61002

```
//取込先の動作方法によって、確認ダイアログを表示します。

//取込先の動作方法でウィンドウ画面を変更する
switch([w:GD61101[w:GD61100]]){
  //設定していない場合
  case 0:
    [w:GD60004] = 30101;
  break;

  //ABSの場合
  case 1:
    [w:GD60004] = 30102;
  break;

  //INCの場合
  case 2:
    [w:GD60004] = 30103;
  break;
}

//フラグリセット
rst([b:GB61002]);
```

スクリプトNo.	30007	スクリプト名	Script30007
コメント	定寸距離-		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61004

```
//定寸-移動を実行します。

//移動距離を格納します。
[1-248:s32:437125] = 0 - [s32:GD61166];
//速度を格納します。
```

```
[1-248:s16:437124] =  [s16:GD61168];

//定寸-移動実行
set([1-248:b:437121.b8]);
//フラグリセット
rst([b:GB61004]);
```

スクリプトNo.	30008	スクリプト名	Script30008
コメント	定寸距離+		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61005

```
//定寸+移動を実行します。

//移動距離を格納します。
[1-248:s32:437125] = [s32:GD61166];
//速度を格納します。
[1-248:s16:437124] =  [s16:GD61168];

//定寸+移動実行
set([1-248:b:437121.b8]);
//フラグリセット
rst([b:GB61005]);
```

スクリプトNo.	30009	スクリプト名	Script30009
コメント	JOG-		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立下り　GB61007

```
//JOG-移動を停止させます。

if([b:GB61014] == ON){
  //JOG-移動停止
  set([1-248:b:000070]);
  //JOG操作確認フラグリセット
  rst([b:GB61014]);
}
```

スクリプトNo.	30010	スクリプト名	Script30010
コメント	JOG+		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立下り　GB61008

```
//JOG+移動を停止させます。

if([b:GB61014] == ON){
  //JOG+移動停止
  set([1-248:b:000070]);
  //JOG操作確認フラグリセット
  rst([b:GB61014]);
}
```

スクリプトNo.	30011	スクリプト名	Script30011
コメント	サーボ操作		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立下り　GB61010

```
//テストモードに移るときにサーボをON、モニタモードに移るときにサーボをOFFします。

if([b:GB61013] == ON){
  if([1-248:b:000049] == OFF){
    //強制出力モードOFF
    rst([1-248:b:000050]);
    //サーボON
```

```
      set([1-248:b:000026]);
   }

   //運転モード変更
   alt([1-248:b:000049]);
   //ガイダンスを閉じます。
   [w:GD60004] = 0;

   //テストモード切り換え確認トリガ OFF
   rst([b:GB61013]);
}
```

スクリプト No.	30012	スクリプト名	Script30012
コメント	位置書き込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GB61003

```
//位置取込先の動作方法が ABS のとき、対象ステップデータの位置に現在位置を書き込みます。

//ステップデータに現在位置を格納
[1-248:s32:401027[w:GD61165]] = [1-248:s32:436865];
//フラグリセット
rst([b:GB61003]);
```

スクリプト No.	30013	スクリプト名	Script30013
コメント	ステップデータ表示設定 1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```
//ティーチングで指定されたステップデータ No.の動作方法を確認して、
//設定されていなかった場合はウィンドウのステップデータ確認画面の
//数値を表示させないようにします。

//ステップデータの動作方法を確認します。
if([1-248:w:401025[w:GD61165]] == 0){
   //設定されていないとき、フラグを ON
   set([b:GB61011]);
}
else{
   //設定されているとき、フラグを OFF
   rst([b:GB61011]);
}
```

スクリプト No.	30014	スクリプト名	Script30014
コメント	動作方法書込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GB61012

```
//ステップデータ確認画面から動作方法が変更されたとき、
//コントローラの動作方法と動作方法格納領域を変更する。

//動作方法格納領域の値によって、値を変更する
switch([w:GD61101[w:GD61100]]){
   //0 の場合
   case 0:
      [w:GD61101[w:GD61100]] =1;
      [1-248:s16:401025[w:GD61165]] =1;
   break;
   //1 の場合
   case 1:
      [w:GD61101[w:GD61100]] =2;
      [1-248:s16:401025[w:GD61165]] =2;
```

```
  break;
  //2の場合
  case 2:
    [w:GD61101[w:GD61100]] =0;
    [1-248:s16:401025[w:GD61165]] =0;
  break;
  }

  //フラグリセット
  rst([b:GB61012]);
```

スクリプト No.	30015	スクリプト名	Script30015
コメント	動作方法読み込みフラグリセット		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```
//画面を閉じるとき、動作方法読み込みフラグとステップデータ保存領域をリセットします。

//動作方法読み込みフラグリセット
set([b:GB61009]);

//テストモードの場合 OFF
if([b:000049] == ON){
  rst([b:000049]);
}

//テストモード切り換え確認トリガリセット
rst([b:GB61013]);

//JOG 操作確認フラグリセット
rst([b:GB61014]);
```

ベース画面 30003、30004

スクリプト No.	30016	スクリプト名	Script30016
コメント	ステップデータ表示設定 2		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```
//ステップデータ編集画面で動作方法によって、数値の表示を切り換えるフラグを設定します。

//一行目
if([w:GD62000[w:GD63101]] == 0){
  set([b:GD63040.b0]);
}
else{
  rst([b:GD63040.b0]);
}

//二行目
if([w:GD62016[w:GD63101]] == 0){
  set([b:GD63040.b1]);
}
else{
  rst([b:GD63040.b1]);
}

//三行目
if([w:GD62032[w:GD63101]] == 0){
  set([b:GD63040.b2]);
```

```
}
else{
   rst([b:GD63040.b2]);
}

//四行目
if([w:GD62048[w:GD63101]] == 0){
   set([b:GD63040.b3]);
}
else{
   rst([b:GD63040.b3]);
}

//五行目
if([w:GD62064[w:GD63101]] == 0){
   set([b:GD63040.b4]);
}
else{
   rst([b:GD63040.b4]);
}

//六行目
if([w:GD62080[w:GD63101]] == 0){
   set([b:GD63040.b5]);
}
else{
   rst([b:GD63040.b5]);
}

//七行目
if([w:GD62096[w:GD63101]] == 0){
   set([b:GD63040.b6]);
}
else{
   rst([b:GD63040.b6]);
}

//八行目
if([w:GD62112[w:GD63101]] == 0){
   set([b:GD63040.b7]);
}
else{
   rst([b:GD63040.b7]);
}
```

スクリプト No.	30017	スクリプト名	Script30017
コメント	ステップデータセーブ前処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GB61100

```
//ステップデータのレシピの読出しを起動後、ステップデータセーブトリガを OFF にします。

if([b:GD61004.b15] == OFF){
   //機器番号設定から読み込み先レシピ No.を指定して格納します。
   [w:GD61002] = [w:GD10] + 30000;
   //読み込み先レコード No.を格納します。
   [w:GD61003] = [w:GD63102];
   //読出しトリガを ON
```

```
   set([b:GD61001.b1]);
   //ステップデータセーブトリガ OFF
   rst([b:GB61100]);
   //ステップデータセーブダイアログ表示
   [w:GD60004] = 30104;
}
//エラーが発生している場合、レシピ処理エラーダアログを表示します。
else{
   //レシピ処理エラーダイアログ表示
   [w:GD60004] = 30117;
   //ステップデータセーブトリガ OFF
   rst([b:GB61100]);
}
```

スクリプト No.	30018	スクリプト名	Script30018
コメント	ステップデータセーブ後処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b1

```
//レシピの読出しを確認後、読出しトリガを OFF します。

//読出しトリガ OFF
rst([b:GD61001.b1]);
```

スクリプト No.	30019	スクリプト名	Script30019
コメント	ステップデータロード前処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GB61101

```
//ステップデータのレシピの書込みを起動後、ステップデータロードトリガを OFF にします。

if([b:GD61004.b15] == OFF){
   //機器番号設定から書込みレシピ No.を指定して格納します。
   [w:GD61002] = [w:GD10] + 30000;
   //書込みレコード No.を格納します。
   [w:GD61003] = [w:GD63102];
   //書込みトリガ ON
   set([b:GD61001.b0]);
   //ステップデータロードトリガ OFF
   rst([b:GB61101]);
   //ステップデータロードダイアログ表示
   [w:GD60004] = 30105;
}
//エラーが発生している場合、レシピ処理エラーダアログを表示します。
else{
   //レシピ処理エラーダイアログ表示
   [w:GD60004] = 30117;
   //ステップデータロードトリガ OFF
   rst([b:GB61101]);
}
```

スクリプト No.	30020	スクリプト名	Script30020
コメント	ステップデータロード後処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b0

```
//レシピの書込みを確認後、書込みトリガを OFF します。

//書込みトリガ OFF
rst([b:GD61001.b0]);
```

スクリプトNo.	30021	スクリプト名	Script30021
コメント	ステップデータアップロード処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61102

```
//ステップデータのデバイスデータ転送を起動後、ステップデータアップロードトリガをOFFにします。

//デバイスデータ転送トリガをON
set([b:GD61009.b0]);
//ステップデータアップロードトリガOFF
rst([b:GB61102]);
//デバイスデータ転送動作確認フラグON
set([b:GB61106]);
```

スクリプトNo.	30022	スクリプト名	Script30022
コメント	ステップデータダウンロード処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61103

```
//ステップデータのデバイスデータ転送を起動後、ステップデータダウンロードトリガをOFFにします。

//基本パラメータのパラメータプロテクトを確認して、
//ステップデータをダウンロードしてもいいか確認します。
[w:TMP0800] = [w:GD63103] & 0x00FF;
[w:GD1000]=[w:TMP0800];

if([w:TMP0800] == 2){
  [w:GD60004] = 30116;
  //ステップデータダウンロードトリガOFF
  rst([b:GB61103]);
}
else{
  //転送元反転フラグをON
  set([b:GD61009.b1]);
  //デバイスデータ転送トリガをON
  set([b:GD61009.b0]);
  //ステップデータダウンロードトリガOFF
  rst([b:GB61103]);
  //デバイスデータ転送動作確認フラグON
  set([b:GB61106]);
}
```

スクリプトNo.	30023	スクリプト名	Script30023
コメント	デバイスデータ転送ダイアログ表示		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	ON中　GB61106

```
//デバイスデータ転送のダイアログを表示します。

//デバイスデータ転送エラーが発生したとき
if([b:GD61010.b15] == ON){
  if([b:GD61010.b0] == OFF){
    if([b:GD61009.b0] == OFF){
      [w:GD60004] = 30118;
      rst([b:GB61106]);
    }
  }
}
//デバイスデータ転送中のとき
if([b:GD61010.b0] == ON){
  if([b:GD61009.b0] == ON){
```

```
      if([b:GD61009.b1] == ON){
         //アップロード中ウィンドウ表示
         [w:GD60004] = 30107;
         //転送元反転フラグを OFF
         rst([b:GD61009.b1]);
      }
      else{
         //ダウンロード中ウィンドウ表示
         [w:GD60004] = 30106;
      }
      //デバイスデータ転送トリガ OFF
      rst([b:GD61009.b0]);
   }
}
//デバイスデータ転送が正常終了したとき
if([b:GD61010.b15] == OFF){
   if([b:GD61010.b0] == OFF){
      if([b:GD61009.b0] == OFF){
         rst([b:GB61106]);
      }
   }
}
```

スクリプト No.	30025	スクリプト名	Script30025
コメント	ステップデータ書き込み確認		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GB61104

```
//基本パラメータのパラメータプロテクトを読み出します。

//パラメータプロテクト確認デバイスを初期化
[w:GD63103] = 0;
//デバイスデータ転送トリガを ON
set([b:GD61015.b0]);
//パラメータ確認フラグ ON
set([b:GB61107]);
//フラグリセット
rst([b:GB61104]);
```

スクリプト No.	30043	スクリプト名	Script30043
コメント	レシピエラー処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b15

```
//レシピ処理エラーが発生したときダイアログを表示します。

if([b:GB61105] == OFF){
   [w:GD60004] = 30117;
   set([b:GB61105]);
}
```

スクリプト No.	30044	スクリプト名	Script30044
コメント	フラグリセット		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```
//画面を閉じる時、フラグをリセットします。

rst([b:GB61106]);
```

スクリプトNo.	30045	スクリプト名	Script30045
コメント	パラメータプロテクト確認		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	ON中　GB61107

```
//パラメータプロテクトが読み出されたか確認します。

if([b:GD61015.b0] == ON){
   if([b:GD61016.b0] == ON){
      rst([b:GD61015.b0]);
   }
}

//デバイスデータ転送が完了したらフラグを落とします。
if([b:GD61015.b0] == OFF){
   if([b:GD61016.b0] == OFF){
      set([b:GB61103]);
      rst([b:GB61107]);
   }
}
```

ベース画面30006

スクリプトNo.	30042	スクリプト名	Script30042
コメント	パラメータプロテクト処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61204

```
//パラメータプロテクトを変更するときの処理です。

//パラメータプロテクトの初期処理
[w:TMP0801] = [w:GD63212] & 255;
[w:TMP0802] = [w:GD63212] >> 8;
[w:TMP0802] = [w:TMP0802] << 8;

//パラメータプロテクトの数値によって処理を変更します。
if([w:TMP801]  == 1){
   [w:GD63212]  = [w:TMP0802]  | 2;
}

else{
   [w:GD63212]  = [w:TMP0802]  | 1;
}

//フラグリセット
rst([b:GB61204]);
```

ベース画面30006、30007

スクリプトNo.	30026	スクリプト名	Script30026
コメント	基本パラメータセーブ前処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61200

```
//基本パラメータのレシピの読出しを起動後、基本パラメータセーブトリガをOFFにします。

if([b:GD61004.b15] == OFF){
   //機器番号設定から読み込み先レシピNo.を指定して格納します。
   [w:GD61002] = [w:GD10] + 30100;
   //読み込み先レコードNo.を格納します。
   [w:GD61003] = [w:GD63300];
```

```
  //読出しトリガON
  set([b:GD61001.b1]);
  //基本パラメータセーブトリガOFF
  rst([b:GB61200]);
  //ステップデータセーブダイアログ表示
  [w:GD60004] = 30108;
}
//エラーが発生している場合、レシピ処理エラーダアログを表示します。
else{
  //レシピ処理エラーダイアログ表示
  [w:GD60004] = 30117;
  //基本パラメータセーブトリガOFF
  rst([b:GB61200]);
}
```

スクリプトNo.	30027	スクリプト名	Script30027
コメント	基本パラメータセーブ後処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b1

```
//レシピの読出し中通知信号を確認後、読出しトリガをOFFします。

//読出しトリガOFF
rst([b:GD61001.b1]);
```

スクリプトNo.	30028	スクリプト名	Script30028
コメント	基本パラメータロード前処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61201

```
//基本パラメータのレシピの書込みを起動後、基本パラメータロードトリガをOFFにします。

if([b:GD61004.b15] == OFF){
  //機器番号設定から書込みレシピNo.を指定して格納します。
  [w:GD61002] = [w:GD10] + 30100;
  //書込みレコードNo.を格納します。
  [w:GD61003] = [w:GD63300];
  //書込みトリガON
  set([b:GD61001.b0]);
  //基本パラメータロードトリガOFF
  rst([b:GB61201]);
  //ステップデータロードダイアログ表示
  [w:GD60004] = 30109;
}
//エラーが発生している場合、レシピ処理エラーダアログを表示します。
else{
  //レシピ処理エラーダイアログ表示
  [w:GD60004] = 30117;
  //基本パラメータロードトリガOFF
  rst([b:GB61201]);
}
```

スクリプトNo.	30029	スクリプト名	Script30029
コメント	基本パラメータロード後処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b0

```
//レシピの書込み中通知信号を確認後、書込みトリガをOFFします。

//書込みトリガOFF
rst([b:GD61001.b0]);
```

スクリプトNo.	30030	スクリプト名	Script30030
コメント	基本パラメータアップロード処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61202

```
//基本パラメータのデバイスデータ転送を起動後、基本パラメータアップロードトリガをOFFにします。

//デバイスデータ転送トリガON
set([b:GD61011.b0]);
//基本パラメータアップロードトリガOFF
rst([b:GB61202]);
//デバイスデータ転送動作確認フラグON
set([b:GB61106]);
```

スクリプトNo.	30031	スクリプト名	Script30031
コメント	基本パラメータダウンロード処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61203

```
//基本パラメータのデバイスデータ転送を起動後、基本パラメータダウンロードトリガをOFFにします。

//転送元反転フラグON
set([b:GD61011.b1]);
//デバイスデータ転送トリガON
set([b:GD61011.b0]);
//基本パラメータダウンロードトリガOFF
rst([b:GB61203]);
//デバイスデータ転送動作確認フラグON
set([b:GB61106]);
```

スクリプトNo.	30032	スクリプト名	Script30032
コメント	デバイスデータ転送ダイアログ表示		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	ON中　GB61106

```
//デバイスデータ転送のダイアログを表示します。

//デバイスデータ転送エラーが発生したとき
if([b:GD61012.b15] == ON){
   if([b:GD61012.b0] == OFF){
      if([b:GD61011.b0] == OFF){
         [w:GD60004] = 30118;
         rst([b:GB61106]);
      }
   }
}
//デバイスデータ転送中のとき
if([b:GD61012.b0] == ON){
   if([b:GD61011.b0] == ON){
      if([b:GD61011.b1] == ON){
         //アップロード中ウィンドウ表示
         [w:GD60004] = 30111;
         //転送元反転フラグをOFF
         rst([b:GD61011.b1]);
      }
      else{
         //ダウンロード中ウィンドウ表示
         [w:GD60004] = 30110;
      }
      //デバイスデータ転送トリガOFF
      rst([b:GD61011.b0]);
   }
```

```
}
//デバイスデータ転送が正常終了したとき
if([b:GD61012.b15] == OFF){
   if([b:GD61012.b0] == OFF){
      if([b:GD61011.b0] == OFF){
         rst([b:GB61106]);
      }
   }
}
```

スクリプト No.	30043	スクリプト名	Script30043
コメント	レシピエラー処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b15

```
//レシピ処理エラーが発生したときダイアログを表示します。

if([b:GB61105] == OFF){
   [w:GD60004] = 30117;
   set([b:GB61105]);
}
```

スクリプト No.	30044	スクリプト名	Script30044
コメント	フラグリセット		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```
//画面を閉じる時、フラグをリセットします。

rst([b:GB61106]);
```

ベース画面 30008

スクリプト No.	30034	スクリプト名	Script30034
コメント	原点復帰パラメータセーブ前処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GB61300

```
//原点復帰パラメータのレシピの読出しを起動後、原点復帰パラメータセーブトリガを OFF にします。

if([b:GD61004.b15] == OFF){
   //機器番号設定から読み込み先レシピ No.を指定して格納します。
   [w:GD61002] = [w:GD10] + 30200;
   //読み込み先レコード No.を格納します。
   [w:GD61003] = [w:GD63600];
   //読出しトリガ ON
   set([b:GD61001.b1]);
   //原点復帰パラメータセーブトリガ OFF
   rst([b:GB61300]);
   //ステップデータセーブダイアログ表示
   [w:GD60004] = 30112;
}
//エラーが発生している場合、レシピ処理エラーダアログを表示します。
else{
   //レシピ処理エラーダイアログ表示
   [w:GD60004] = 30117;
   //原点復帰パラメータセーブトリガ OFF
   rst([b:GB61300]);
}
```

スクリプトNo.	30035	スクリプト名	Script30035
コメント	原点復帰パラメータセーブ後処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b1

```
//レシピの読出し中通知信号を確認後、読出しトリガをOFFします。

//読出しトリガOFF
rst([b:GD61001.b1]);
```

スクリプトNo.	30036	スクリプト名	Script30036
コメント	原点復帰パラメータロード前処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61301

```
//原点復帰パラメータのレシピの書込みを起動後、原点復帰パラメータロードトリガをOFFにします。

if([b:GD61004.b15] == OFF){
  //機器番号設定から書込みレシピNo.を指定して格納します。
  [w:GD61002] = [w:GD10] + 30200;
  //書込みレコードNo.を格納します。
  [w:GD61003] = [w:GD63600];
  //書込みトリガON
  set([b:GD61001.b0]);
  //原点復帰パラメータロードトリガOFF
  rst([b:GB61301]);
  //ステップデータロードダイアログ表示
  [w:GD60004] = 30113;
}
//エラーが発生している場合、レシピ処理エラーダアログを表示します。
else{
  //レシピ処理エラーダイアログ表示
  [w:GD60004] = 30117;
  //原点復帰パラメータロードトリガOFF
  rst([b:GB61301]);
}
```

スクリプトNo.	30037	スクリプト名	Script30037
コメント	原点復帰パラメータロード後処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b0

```
//レシピの書込み中通知信号を確認後、書込みトリガをOFFします。

//書込みトリガOFF
rst([b:GD61001.b0]);
```

スクリプトNo.	30038	スクリプト名	Script30038
コメント	原点復帰パラメータアップロード処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61302

```
//原点復帰パラメータのデバイスデータ転送を起動後、原点復帰パラメータアップロードトリガをOFFにします。

//デバイスデータ転送トリガON
set([b:GD61013.b0]);
//原点復帰パラメータアップロードトリガOFF
rst([b:GB61302]);
//デバイスデータ転送動作確認フラグON
set([b:GB61106]);
```

スクリプトNo.	30039	スクリプト名	Script30039
コメント	原点復帰パラメータダウンロード処理		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	立上り　GB61303

```
//原点復帰パラメータのデバイスデータ転送を起動後、原点復帰パラメータダウンロードトリガをOFFにします。

//転送元反転フラグON
set([b:GD61013.b1]);
//デバイスデータ転送トリガON
set([b:GD61013.b0]);
//原点復帰パラメータダウンロードトリガOFF
rst([b:GB61303]);
//デバイスデータ転送動作確認フラグON
set([b:GB61106]);
```

スクリプトNo.	30040	スクリプト名	Script30040
コメント	デバイスデータダイアログ表示		
データ形式	符号付きBIN16	トリガ種別	ON中　GB61106

```
//デバイスデータ転送のダイアログを表示します。

//デバイスデータ転送エラーが発生したとき
if([b:GD61014.b15] == ON){
   if([b:GD61014.b0] == OFF){
      if([b:GD61013.b0] == OFF){
         [w:GD60004] = 30118;
         rst([b:GB61106]);
      }
   }
}
//デバイスデータ転送中のとき
if([b:GD61014.b0] == ON){
   if([b:GD61013.b0] == ON){
      if([b:GD61013.b1] == ON){
         //アップロード中ウィンドウ表示
         [w:GD60004] = 30115;
         //転送元反転フラグをOFF
         rst([b:GD61013.b1]);
      }
      else{
         //ダウンロード中ウィンドウ表示
         [w:GD60004] = 30114;
      }
      //デバイスデータ転送トリガOFF
      rst([b:GD61013.b0]);
   }
}
//デバイスデータ転送が正常終了したとき
if([b:GD61014.b15] == OFF){
   if([b:GD61014.b0] == OFF){
      if([b:GD61013.b0] == OFF){
         rst([b:GB61106]);
      }
   }
}
```

スクリプト No.	30043	スクリプト名	Script30043
コメント	レシピエラー処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り　GD61004.b15

```
//レシピ処理エラーが発生したときダイアログを表示します。

if([b:GB61105] == OFF){
  [w:GD60004] = 30117;
  set([b:GB61105]);
}
```

スクリプト No.	30044	スクリプト名	Script30044
コメント	フラグリセット		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```
//画面を閉じる時、フラグをリセットします。

rst([b:GB61106]);
```

ベース画面 30500

スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	ドキュメント表示の最終ページの処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```
//総ページ数が 0 でないことを確認
if([w:GD60082]!=0){
 //現在ページ数が総ページ数を超えているか比較する
 if([w:GD60081]>[w:GD60082]){
  //表示するページを最終ページに設定する
  [w:GD60081]=[w:GD60082];
 }
}
```

5.6.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30500

オブジェクト	スイッチ	オブジェクト ID *1	10019
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号あり BIN16	トリガ種別	デバイス書き込み時

```
//ページ数がドキュメントの総ページ数を超えないようにします。
if([u16:GD60081] >= [u16:GD60082]){
  [u16:GD60081] = [u16:GD60082] - 1;
}
```

ウィンドウ画面 30003

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID *1	10014
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り　GB40

```
//時計データより本日の年月を取得
[w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ
[w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] +  [w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット
[w:GD63990] = [w:TMP973];//年をセット

[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得
```

```
[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ
[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の1の位を取得
[w:TMP974] = [w:TMP969] +  [w:TMP953];//TMP974に月をBINでセット
[w:GD63991] = [w:TMP974];//月をセット

[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下2桁の10の位を取得
[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12;//桁合せ
[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下2桁の1の位を取得
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP975] =[w:TMP970] +  [w:TMP964];//TMP975に日をBINでセット
[w:GD63992] = [w:TMP975];//日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の10の位を取得
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の1の位を取得
[w:TMP976] = [w:TMP971] +  [w:TMP957];//TMP976に時をBINでセット
[w:GD63993] = [w:TMP976];//時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下2桁の10の位を取得
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下2桁の1の位を取得
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP977] =[w:TMP972] +  [w:TMP967];//TMP977に分をBINでセット
[w:GD63994] = [w:TMP977];//分をセット

[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の10の位を取得
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の1の位を取得
[w:TMP978] = [w:TMP996] +  [w:TMP994];//TMP978に秒をBINでセット
[w:GD63995] = [w:TMP978];//秒をセット
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクトID *1	10015
スクリプトユーザID	2		
データ形式	符号なしBIN16	トリガ種別	常時

```
// BIN -> BCD変換

[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000;// 年の下2桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10);  // 年BIN -> BCD
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10);  // 月BIN -> BCD
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10);  // 日BIN -> BCD
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10);  // 時BIN -> BCD
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10);  // 分BIN -> BCD
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10);  // 秒BIN -> BCD
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクトID *1	10016
スクリプトユーザID	3		
データ形式	符号なしBIN16	トリガ種別	常時

```
// 年月設定

[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981];  // 変更時刻デバイスに年月セット
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクトID *1	10017
スクリプトユーザID	4		
データ形式	符号なしBIN16	トリガ種別	常時

```
// 日時設定

[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983];  // 変更時刻デバイスに日時セット
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクトID *1	10018
スクリプトユーザID	5		
データ形式	符号なしBIN16	トリガ種別	常時

```
// 分秒設定

[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985];  // 変更時刻デバイスに分秒セット
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクトID *1	10019
スクリプトユーザID	6		
データ形式	符号なしBIN16	トリガ種別	常時

```
// 曜日設定

[w:TMP986] = [w:GD63990];  //年(BIN)
[w:TMP987] = [w:GD63991];  //月(BIN)
[w:TMP988] = [w:GD63992];  //日(BIN)

if(([w:TMP987] == 1) || ([w:TMP987] == 2)){//1・2月の場合のみ前年の13・14月として計算するための補正処理
   [w:TMP986] =[w:TMP986] - 1; //年から1を減算
   [w:TMP987] =[w:TMP987] + 12;//月に12を加算
}

[w:TMP989] = [w:TMP986]/4;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5;//ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;
```

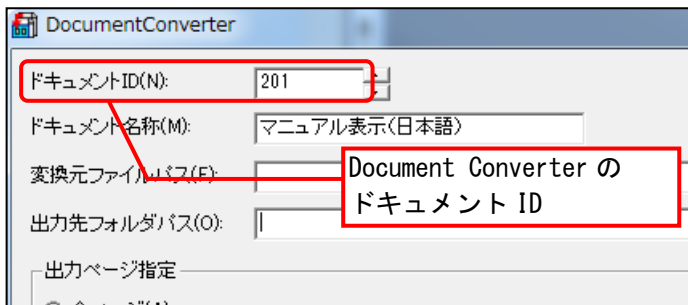
*1 オブジェクトIDは画面流用時に変更される場合があります。

6. マニュアル表示について

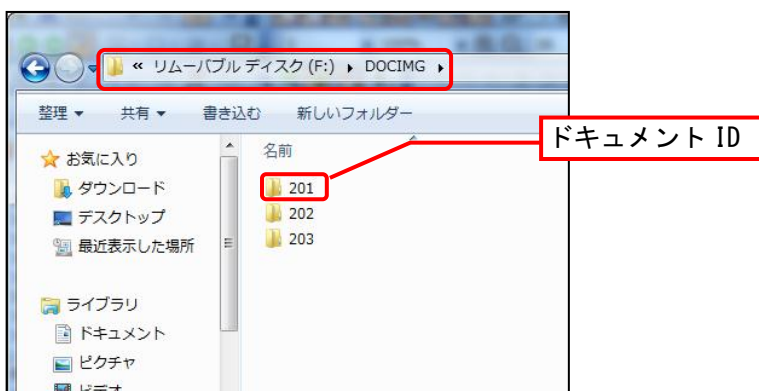
マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。ドキュメント表示機能は言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では選択した表示言語にあわせてドキュメント ID を変更することで、ドキュメントの言語切り換えを実現しています。

6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示に日本語のマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

(1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。Document Converter の[ドキュメント ID]に 201 を設定します。
※ドキュメント ID と表示言語の対応は下記表を参照してください。

コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

※Document Converter は 2.09K 以降のバージョンを使用してください。2.08J 以前のバージョンでは総ページ数とページ切り換えスイッチが正しく動作しません。

(2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。

SD カードのフォルダ構成

備考：総ページ数が 100 ページ以上の場合
本サンプルは総ページ数が 99 ページまでのドキュメントを想定しています。100 ページ以上の場合は、総ページ数および現在表示中ページ番号の表示を行う数値表示の書式文字列(#の数)を修正してください。